



ROTARY INTERNATIONAL

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of District 260

国際ロータリー第260地区
塚田 和男

〒380 長野県市町576
ホテル長野国際会館内 PHONE:0262-34-3435
F A X:0262-33-3655

Rotary Brings Hope
ロータリーは希望をもたらす

District 260

KAZUO TSUKADA

Hotel Nagano Kokusai Kaikan
576 AGATA-MACHI, NAGANO CITY
JAPAN 〒380/PHONE:0262-34-3435
FAX:0262-33-3655

新年度所感

新しい年度を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて、皆様のご理解をいただきたいと思います。

本年度R.I.会長M.A.T.カパラスの掲げたテーマ「ロータリーは希望をもたらす」には、仲々味わいのある、奥行の深い内容が含まれております。

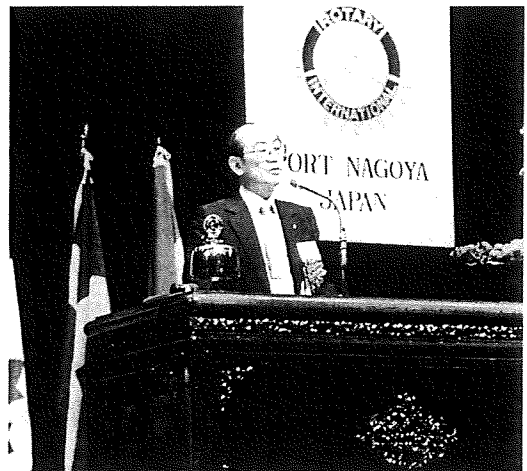
「ロータリアンは、奉仕を通じて互いの親睦を深め、友情を育て、更には社会の色々な階層の人々に希望の灯を見出させ、そしてこれらの人々を巻き込みながら、より大きく奉仕の活動を上げよう」と言う彼の呼び掛けには、心から共鳴を覚えます。私は、栄光に満ちた第260地区の歴史に、有終の美を飾るべき本年度においては、地区内挙げての相互理解と、奉仕の実践を、推進して参りたいと考えます。そのための合言葉として「明るく、楽しく、そして先ず行動を」と提唱いたしましたわけであります。

奉仕のよろこびを一人でも多くの人々にと言う我々の願いが、会員増強、クラブ拡大に結びつくのだという発見は、結局のところ、私に大きな力を与えてくれました。ポリオ、・プラスキャンペーンについては、国内募金委員会の指示を待って、いずれ具体的に協力を要請しますが、その時には是非よろしく願いいたします。10月、上田における地区大会への積極的なご参加と、マンスリーレーター全員購読に向かっての一步前進につきましても、ここで改めてお願いを致さねばなりません。そして、R.I.会長賞プログラムに対しては、各クラブが果敢にチャレンジすることを期待したいと思ひます。

最後に、ロータリー財団とその活動の成果については、皆様と共にこの際認識を新にして、自発的な参加意識の醸成を促進するために、努力する考えであります。

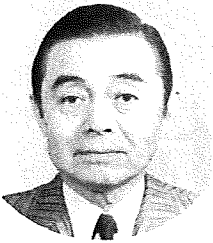
この1年を、実りある奉仕の実践に捧げようではありませんか。

塚田 和男





分区代理所信



尾張第一分区

小嶋 洋一

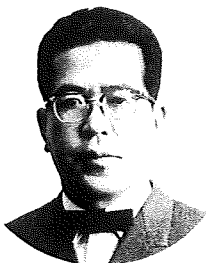
1986～87年度の260地区尾張第一分区代理を委嘱され、改めて手続要覧を読み返してみると、分区代理については、「地区内であらかじめ区分された地域内のクラブ役員に助力するため、ロータリアンの中からガバナーが指名する非公式代理。ガバナーはその任務を何人にも委譲する権限を持たないのでこの代理は非公式で権限を持つものでないと明記されている。

従来、とすると分区代理はガバナーの代理という点だけが強調され、非公式で権限を持つものでないという点が看過される傾向があるように思われる。又、役割についても、分区内のクラブ役員に助力するためという役割も看過されているのではなからうか。

分区代理の仕事の一つとされているIGFについても、IGFを分区代理が主宰するという

ことはどこにも書いてない。半ば慣例化して今日に至っていることとは思いますが、敢えて慣例を破る必要もないし、一方では原則も守らねばならず、この辺がロータリーの良さであり、難しさでもあろう。

幸い、尾張第一分区は新年度からは名古屋第一第二分区が分かれ、20クラブから一挙に5クラブとなり、分区内は同じ知多半島内ということもあって、非常にまとまりがよくなり、かみしもをつけずに、フランクに話し合えるようになったのは誠に喜ばしいことだと思う。IGFは名古屋第一第二分区は合同で開催されるようだが、尾張第一分区は折角新しく分区が分かれた以上、小じんまりと5クラブだけでやった方が良いという分区内のクラブの合意に基づき、別で開催する予定でいる。ホストは分区代理の所属する東海ロータリークラブということになっている。分区代理の所属するクラブがホストクラブになるというのは尾張第一分区では数年前から慣例化しているようなので、守るべき慣例は守り、一方では原則を忘れず、前任の吉田市郎分区代理を初め、ロータリアンの諸先輩のご指導を仰ぎながら、一年間を大過なく過ごしたいものと念ずる次第である。



名古屋第一分区

今井 富夫

この度、私はロータリー第260地区塚田ガバナーの御指導を受け、名古屋第一分区代理を拝命しました。浅学非才ではありますがこの一年、一生懸命に勤めさせて頂くつもりであります。全世界に広がったロータリーの輪は、既に百万人のメンバーを擁し日本では、その10%を占める大組織となっています。どうしてこんなに短い

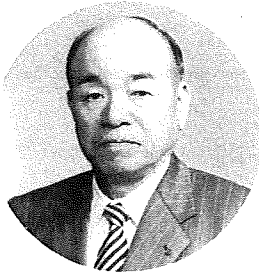
期間にこうした膨大な組織に発展したのでしょうか。それはロータリーが、社会の発展とそのニーズに合った組織である為加盟するメンバーの共感を得たものと思います。進んでいる国のメンバーが後発の国のメンバーと結び合って正しく生きていく在り方を知り合う機会が出来ます。

次に、メンバー相互の情報の流れを緊密に交換し、互いの生活の向上を図る必要があることです。この為には人間関係のふれあいが緊密である必要があります、週1回の例会は他のクラブ活動より頻度が多く大変望ましい事です。人と人とのふれあいの中に人間の向上が発見できます。委員会活動も委員長に任せ放しでなく、小集団を固めて週一例会以外に時間外でも家族ぐるみ



でもよく、とにかく小集団活動をここから固めることによって最近とかく形式的でおぎなりに
なりがちな例会が緊密化し厚味のある楽しい例
会になります。その点、メーキャップを極力や
めるか、週2回位例会に出る意気込みをもって
進むと互いに活気のあるクラブ活動になると思
います。要は「ロータリーとは何ぞ」と問われ
れば直ちに答えられます。人間の和を広げ生活

の向上に資すると共に流動する世界の人々ともこ
の組織を通じて進んでいる者は遅れている者を
引っぱり和を保って世界情報を手中に収めて楽
しい世界の和を取り上げる大切な組織だと思い
ます。宗教でもなく、政治的なものでもなく、
合理的で精神的なもの、自分を向上させていく
為の大切な組織がロータリーであると思います。



名古屋第二分区

尾関重雄

私此度名古屋第2分区代理の委嘱を受け心の
引締る心境でございます。と申しますのは、今
日までに分区代理としての研修会が10数回あり
その都度色々の経験をさせて頂き、自分の任務
遂行に責任を感じています。

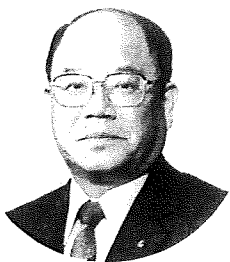
1986~1987年度のR.I. 会長M.A.T. カパラス
氏のターゲット“ROTARY BRINGS HOPE”
を語り合いましょうと云うことは、ロータリア
ンは、奉仕を通じて親睦を求め、これを友情に
育てようと云う事の要です。私もロータリーに
入会して28年になり、現在までの過程を回顧し
て見ますと、ロータリーの最大の目的は地域社

会に奉仕する事です、私がロータリーに入っ
て一番良かった事を二三述べさせて戴きます。

それは先ず第一に自分が未熟でも社会経験の
豊かな立派な方々を友人としてお付き合いがで
きた事、第二は其の友人から色々と良い事を学
び取る事ができた事、第三は商売も友人との付
き合いで段々良くなって来ました、第四は四つ
のテストの精神を取り入れる様になってから自
分の会社も非常に従業員とのコミュニケーションが円滑に行く様になり、お互に自分の責任を
自覚する様になりました。私は特に以上の項に
つきまして、若いクラブ会員の方々にお伝えし
たいと思っております。

私は今後共R.I.ガバナー カパラス氏、260地
区ガバナー 塚田和男氏の基本方針等少しでも
多くのロータリアンの方々に理解して戴き、実
行に邁進されん事を切に希望申し上げます。

終りに臨み、先輩の方々の功績を偲びつつ、
将来のロータリーの発展を如何に図って行くか
思いを新たにしている次第です。



東尾張分区

向 博

恵まれている国から希望をもたらそう

今、日本は世界一の金持ちの国になった。

対外純資産が昨年末1,298億\$、前年に比べ75
%もふえた。英国が900億\$サウジアラビア700
億\$と続いている。実感はないが、たいした国
になったものである。一方、日本の個人貯蓄も

又びっくり。昨年一年間で49兆円もふえた。1
\$170円で計算をすると2,883億\$其他法人の
貯蓄を含めるとざっと3,000億\$を上回る。人
口が日本の倍の米国の民間貯蓄が3,200億\$、
ECは11ヶ国合せてわずかに2,000億\$、日本
の貯蓄がずば抜けて多い事がわかる。日本の昨
年の財政赤字が約12兆円、1\$170円で換算す
ると約700億\$、民間貯蓄が3,000億\$あるか
ら金融市場に2,300億\$は出回る。米国は貯蓄
が3,200億\$財政赤字が2,200億\$市場に流れ
るカネはわずかに1,000億\$、カネ余りも日本
が世界一かもしれない。さらに原油の値下り、
日本は年間輸入額の40%が原油。昭和56年平均
の原油価格は37.29\$、これをピークに昨年5月



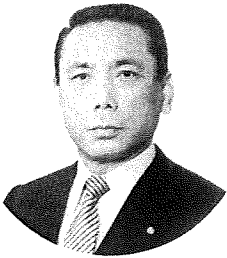
28.31\$、今年5月12.89\$である。この一年で\$ベースで約半値以下になり円高を加味した円ベースでは74.5%も値下がりしている事になる。恵まれている日本といわざるを得ない。

そこでこの恵まれた日本の国際的貢献度はどうか、1984年政府開発援助の中で無償援助の贈与比率を見ると英国、カナダ97~92%、米国、イタリア86~82%、フランス、西独79~71%、日本は55%にすぎない。

製品輸入にしてもしかり、経済大国になった今日も尚、東京サミット参加国中最低である。さ

らに国費による留学生の受入れが実に貧弱。米国31.1万人、フランス11.9万人、西独5.7万人、英国5.2万人に比べ日本はわずか8,000人である。せめても今、ポリオプラス計画が国連主催のもと世界で1億2千万\$、その10%40億円を日本が分担をしようとしている。その又半分20億円を日本のロータリアンが受持つ事になった。極めて喜ばしい事である。

この恵まれた国日本から先ず希望をもたらそうではありませんか。



西尾張分区

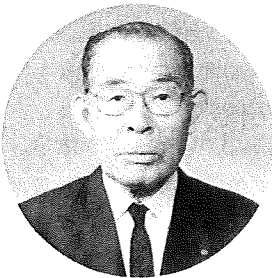
箕浦弘美

ロータリアンになって23年を数えようとしている私は、今、西尾張分区代理をお、せつかり、この挨拶文を書くはめになって、はたと困った。何故ならば、何を書くかが、少しも頭の中でまとまらないからである。それでも何か書かなければならないので、ペンを持つのではあるが、やっぱりまとまらない。止める。2、3日過ぎて又ペンを取る。だめだ。又止める。締切日が近づく。今日は最後の日曜日。朝からペンを取

る。でも、まだまとまらない。午後になって、まとまらない理由が解ったような気がする。それは分区代理という役職を、真に理解していなかったからであると。そこでもう一度手続要覧に目を通す。全部理解ではないが、やっと、方向が定まった。

“分区代理とは、各クラブの管理責任者を援助するための非公式なガバナー代理を言い、クラブ会長と、ガバナー間の連絡員で、公式の権限をもつものではない。又、ガバナーに援助と、思いやりと、刺激を与え、かつ、地区内に健全な道徳を樹立するのを助ける。”と規定している。

つかず・はなれず・でしゃばらず・をモットーに、この一年間を、西尾張分区内の潤滑油でと思い定めました。ご協力をお願いし挨拶いたします。



三河第一分区

久曾神昇

このたび分区代理を任命せられました。歴代の高潔な方々を思い、自身の非才を顧みまして、まことに忸怩たるものがありますが、ロータリアンの方々の温い友情を仰ぎ、驚駭に鞭うつことに致しました。ガバナーより執筆を命ぜられましたので、贅言を一二述べさせていただきます

す。

その一つはルールの件であります。凡そ規則は、その基本理念に基づいて成立しているものではありますが、細部について見れば、極めて広範囲に渡りますので、抄録は勿論、できれば一応全文を見ておきたいと思います。ルールを知っていると、何事をするにも自信がもてます。また参照する場合にも、一度見ておきますと容易でありますし、少なくとも初めて尋ねるような不安はありません。

いま一つは、沈滞しないように、絶えず意識的に顧みる必要があるように思います。惟うにロータリーは、時の花は千変万化、毎年咲きかわりますが、不易の花は永久不変であります。



各クラブはその理念に基づいて創立せられ、それぞれの立地条件、構成メンバーの性能、規模など、あらゆる要因を総合して活動をつづけられているのであり、詳細に比較すれば千差万別であります。それぞれ崇高な理想のもとに企画せられている筈であります。しかしすべてを金科玉条と遵奉するのみでなく、できることなら、一つでも何か新しい花を加えるように努めたいものであります。例えば新会員の増加に努めると共に、新会員など若い方々の優れた新意

見などをも積極的に参照するのも一方法かもしれませんが、ロータリー精神に抵触するようなことは勿論許されませんが、時代の進歩につれ聴くべきこと、採るべきことも、絶無ではないように思われます。要するに、それぞれのクラブの長所を充分に発揮するように、自主的御配慮を冀う次第であります。できることなら、何か新しい花を咲かせ、ホープをもたらすようにと希求してやみません。



三河第二分区

田中邦夫

4月16日、豊田東ロータリークラブから始めた各ロータリークラブの表敬訪問は5月28日の岡崎ロータリークラブの訪問を最終に12クラブ全部を一応終了致しました。25年以上も名古屋市に居住しながら、豊田市以遠には殆んどと言っていい程、自分の意志で自分の脚で訪れた事のなかった私には、すべてが大変な発見であり、知識であり、尊い体験でした。

訪問した各ロータリークラブでは特にお願いして末席から静かに見学させて貰いましたが、各ロータリークラブ夫々の素晴らしい特長やムードの一端に接して、私自身にとってもまたとない貴重な体験小旅行でもありました。愛知県も広いナ…とうっかり口をすべらせて家内に笑われてしまった他愛ない次期分区代理です。次いで6月4日名鉄岡崎ホテルで第1回次期会長

幹事会を開催致しました。

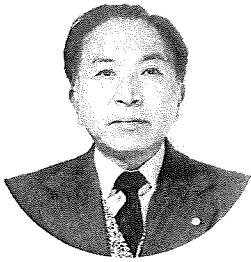
懇親会の席上で気づいたことは、次期会長幹事さんの大半がJ・C出身者であり既にお互いに旧知の間柄だけに話題も豊富で本当に楽しい会合でした。そしてこれらの若い次期会長、幹事さん達が期せずして、1986～87年度会長賞受賞歓迎を表明して私と盃をくみかわしたことは思いがけない印象的な光景でした。以上が次期会長幹事さん達と私との間の情報交換伝達の現状報告です。次に私が次期会長幹事会の席で、特に表明し要請致しました年度所見の要点は次の三項目でした。

1. 新入会員諸氏の教育についてはロータリークラブ会長の責任において特に懇切、適格に実施して下さい。
2. ロータリー活動の源泉でもあるクラブ例会をより楽しくより明るくする為に、クラブ奉仕部門の皆さんの全力投球を期待します。
3. 各プロジェクト創造に際しては事前に特別の専門研究会を開催して全会員諸氏の賛同と協力を得てから実施に踏み切して下さい。

“総論確定 各論実行”

ロータリー活動の成功はこれが要諦です…と。





東 信 分 区 篠 原 和 一

今から11年前南佐久RC創立チャーターメンバーとしてロータリーの口も知らず入会いたしました。毎週の例会に出席するうちにロータリーの本質が分かってきた様な気がしました。何にも出来ないけれど、よし出席だけは絶対100%してやろうと心に決め今日迄11年皆勤を続けて居ります。海外でのメークや国内旅先でのメーク等は思い出に残り良いものです。入会して2年目でしたか業界グループでヨーロッパ旅行の時でした。オランダアムステルダム空港でローマ行の便に乗次ぎの為列に並んでいましたらポンと肩を叩かれました。振り返ると外人のロータリアンで口早に話し掛けてきましたが元来私はなにも分らない、早速ゼスチャーでかたい握手を交し名刺を戴いて機内に入り同行の友に私の名刺に日本の地区クラブ名を書いて戴き御返しをした。

ロータリーはやはり国際的であると此の時つく

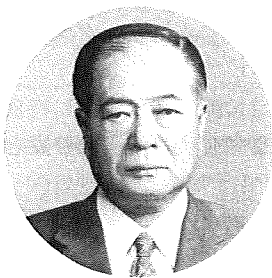
づく思いました。

私はこうした国際的ロータリーの会員であることに自覚し職業奉仕に徹し、自覚ある行動に心掛けております。

福田パストガバナーの名言、ロータリーは男のロマンである。

それぞれの意見を持ちそれぞれの個性ある一国一城の主の集りであるロータリー。自分の意見と違う場合もある。こんな場合60%の意見に従う様にしたいものです。個性ある人格が丸みを持ち協調性が出て来る様な気がします。加藤パストガバナーは申しました。どちらを向いても大姑小姑が一杯だと。やはり親睦委員会の重要性はこの辺にあると思います。ある地域にロータリーに入会戴きたい方が多人数居ると思います。然し其の地域にクラブがない事を考えますと拡大も私達に果せられた重要な課題だと思います。点と点の線上にこんな場所はないか検討し、行動を起すべきだと思います。

本年度田舎の小クラブ南佐久から東信分区分区代理に就任致しました浅学非才な未熟者で御座居ますが、ロータリーの友情と御支援にすがり塚田ガバナーと皆様とのパイプ役として精一杯の努力を致しますので宜敷く御願ひ申し上げます。



北 信 分 区 山 田 吉 之 助

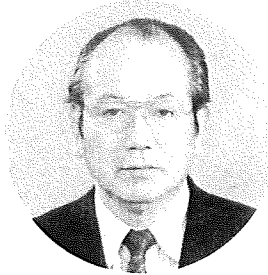
このたび北信分区分区代理を命ぜられ、まことに力不足ではございますが、何とか一年間塚田ガバナーのもと、分区内のクラブとの連携役を一生懸命務めたいと思いますので宜敷く御願ひします。幸いにも塚田ガバナーは北信分区内の東クラブの会員であり、私とは親しい友達でもありますので、気軽に分区分区代理を務める事が出来ますことは本当にありがたく思っています。既にご承知の通り260地区は来年度より受知県と長野県の2地区に分割されることになっており、

その前提として今年度(1986年～1987年)より東北信分区分区が北信分区分区と東信分区分区に分割され、その一方の北信分区分区代理(東北信分区分区14クラブを7クラブに分けた)として不肖私がその任を務めることになりました。もっとも1分区分区14クラブを管轄することは荷が重く容易でないことであつたのですが、分割することによって分区分区代理の仕事が少しでも軽くなって本当にありがたいと思っています。北信分区分区は県都長野市を擁し、長野県が1地区になると、県内ロータリーのリーダーシップをとるようになるのではないかと思います。しかし北信分区分区は高速交通網の立遅れで、県外においても県内においても産業経済の谷間になっており、経済人を基盤としているロータリアンとして、ロータリーの奉仕活動によって、北信産業経済活性化のために一翼をになつてはどうかと思います。今年度の国際ロータリー会長のターゲット「ロータリーは希



望をもたらす」という言葉は、現在の円高不況を乗り切るには応しく、このターゲットを信奉して、ロータリーの奉仕の精神を北信分区の経済に反映していきたいと思います。分区の管轄区域が狭くなったので、分区代理の役目もキメ細かに中味濃く果すことが出来、ロータリーの普及浸透、ひいてはロータリーの発展拡張に寄

与することになると思います。結局地区分区の分割はロータリーの発展拡張のためであり、出来ればガバナーとも相談の上、会員増強、クラブの拡大を考えなくてはならぬかと思います。何れにしても分区内のクラブのために一生懸命努力いたしたいと思いますので、何卒絶大なる御指導御支援の程御願い申し上げます。



南信第一分区

堀 英文

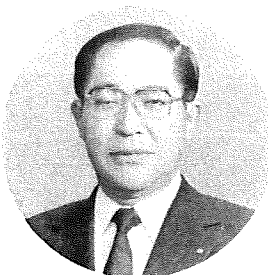
いよいよ分区代理の任期が来ました。どうぞ宜敷くお願い申し上げます。

大きな260地区も今年度が最後になります。南信第一分区も分割することになると思います。諏訪湖Cとあずみ野Cが誕生して、14Cという大きすぎる分区になり、分区本来のクラブ数や地理的な条件から言っても大きくなりすぎたようです。260地区に11の分区がありますが、一番クラブ数の多いのが南信第一分区です。全国的にも国際的にも最も大きな分区ではないでしょうか。そんな大きな分区の分区代理が私に無事つとまるかどうか全く心配でなりません。ロータリアンとしても人間としてもまだまだ未熟な私を誰よりも私自身が判っております。ただ若さと健康とロータリーが好きであることでは誰

にも負けない自信を持っています。この一年間これもロータリーの奉仕の一つと考え、自らに鞭打ち、無事責任を果すために懸命の努力をする所存です。分区の各クラブの皆様、地区の皆様、絶大なる御指導と御協力を心から御願い申し上げます。

北の白馬C、南の木曽C、アルプスに添っている大町C、あずみ野C、松本C、松本南C、松本西南C、松本東C、塩尻C、諏訪湖をとりまく諏訪C、岡谷C、諏訪湖C、八ヶ岳山麓の富士見Cと茅野C、これ程風光に恵まれた分区が他にあるとは思えません。事前訪問、ガバナー公式訪問の他にも随時訪問させて頂き、御指導を仰ぎたいと思います。

地区としても分区としても歴史的な年度であるに違いありません。分区内のクラブが増強と拡大、I.A.C. R A Cの増強を推し進め、小さな260地区があらゆる面で大きくなることをひたすら祈りながら分区代理の一年を過したいと思います。重ねて御指導と御協力を御願い申し上げ、最後に皆様の御健康を御祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。



南信第二分区

藤 沢 今 正

南信第二分区代理を仰せつかった藤沢今正であります。長い伝統に輝く260地区の分区代理として、これから一年間、南信第二分区8クラブの会員の皆様と共に、ローター活動が出来ま

すことを大変光栄に思っております。

本年度R. I. 会長M. A. T. カバラスさんの“ROTARY BRINGS HOPE”

——ロータリーは希望をもたらす——

のテーマのもと、ロータリーの益々の発展を願い、邁進して参りたいと考えて居ります。

特に第260地区に於いては、張切って居られる塚田和男ガバナーの御指導で、ガバナーの常々おっしゃって居られる「明るく 楽しく そして先ず行動をおこすこと」を目標にあらゆることにあたって参りたいと覚悟しております。

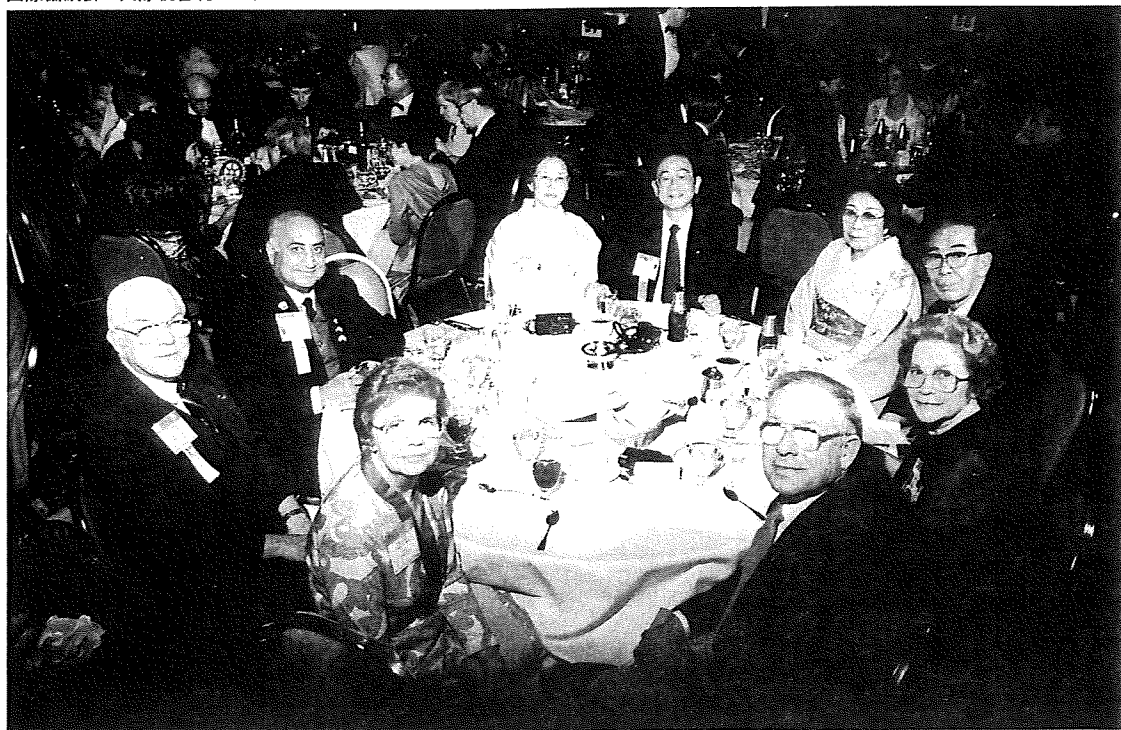
何分にも浅学非才の身、ガバナー始め会員諸兄の温かい御指導を期待して居ります。



国際協議会 国際大会 に出席して

塚田 和男

国際協議会の国際親善晩さん会

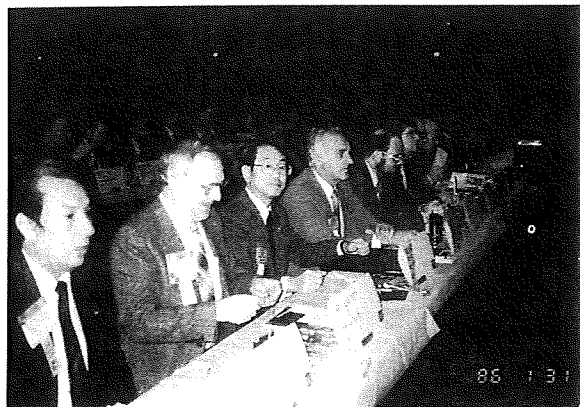


本年は丁度 R. I. が 3 年に 1 度行われる規定審議会が開催される年に当たりますので、例年 3 月頃開かれておりました国際協議会が、本年は 1 月 25 日から 2 月 1 日まで 8 日間にわたってアメリカ・テネシー州ナッシュビルのオプリランドホテルで開催されました。日本からは 27 地区のガバナー・ミニが夫妻で出席いたしました。テネシーはアメリカのほぼ真ん中に位置しており、我々が参りました 1 月は寒い時期で、戸外では殆ど毎日わずかですが雪が降っておりました。幸い戸外に出る用事が殆どありませんので、寒さを感じる事はありませんでしたが、全くホテルに缶詰になっておりました。

国際協議会はガバナーのための研修会で、この 8 日間全部に出席しませんがガバナーの資格が得られないということで中々厳しい毎日でした。全世界 447 地区のガバナー・ミニ夫妻と R. I. の会長、役員、職員等全部合せて 1,300 人程でホテルがほぼ一杯の状態でした。

毎日、会議の午前の始まりと午後の始めには、必ず本会議があり、エド・カドマン会長をはじ

め会長エレクト M.A.T. カバラスそれに R. I. の役員による毎回約 30 分程の講演があります。これは広い会場に全員が出席しますが、毎日座る席が違い、指定席には名札が付けてあり、世界各国の違う人々と接する様になっております。本会議が終了すると 14～5 人のグループに分れてグループセッションが行われます。そのグループにはインストラクター 1 人が必ずついて、徹底した研修がなされました。本会議の講演が 15 回、グループセッションは 16 の項目について行



国際協議会の本会議



国際協議会のグループセッション



われました。グループセッションでは、本年度のテーマについてどのように推進するか、ガバナー月信はどのようにして良い記事を書けるか、公式訪問はどのように気を配るか、又スピーチはどうするか、会長エレクト研修セミナー・地区協議会・地区大会はどうするか、会員増強・新クラブの結成について、次には四大奉仕について、或いは青少年奉仕・ロータリー財団について等、すべてにわたって細かに研修が行われました。

会長エレクトM.A.T.カパラスが、本年度のテーマとして

“ROTARY BRINGS HOPE、

——ロータリーは希望をもたらす——

を発表されました。そして、このテーマについて詳しく述べられましたが、それについては前号に載せてありますので、省略いたしますが、ノミニー全員が大変に感銘を強く受けた次第です。

本会議場では各国語が同時通訳され、グループ討論では韓国や台湾のノミニーも入られて、日本語で行われましたので、言葉のハンデは殆どありませんでした。

国際大会

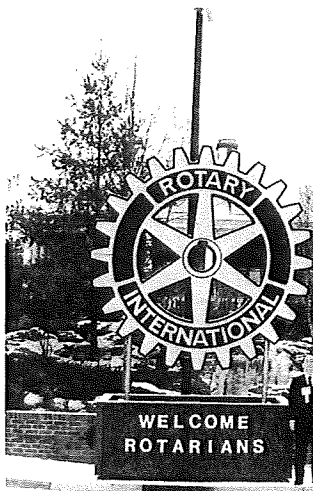
本年の国際年次大会はアメリカ・ラスベガスR.C.がホストとなり、6月1日から4日

まで開催されました。

ラスベガス大会の登録者総数は19,761名で、その内訳は、1位がアメリカで13,183、2位がナイジェリアで1,110、3位がカナダで894、4位がメキシコで836、5位が日本で818でした。大変な人数の参加でしたので、大きさをほこるラスベガス・コンベンションセンターでも開会式は2回に分けて行われ、女性のAからKまでが6月1日の午後8時より、LからZまでが6月1日の午後4時からで、まず最初にビデオでレーガン大統領のメッセージが紹介され、アメリカ国歌の合唱があり、R.I. カドマン会長の紹介及び挨拶等、その合間には歌や踊りがあり、華やかでしかも大変楽しい開会式でした。



国際大会親善昼食会のカパラス会長夫妻



国際協議会会場の前景



国際大会入口にて



ラスベガスの町の大きなホテルでは、ファッションショーや晩さん会など、いろいろな行事が国際色豊かに賑やかに開かれていました。今回はご承知のように、1987～88年度のR.I. 会長にアメリカのチャール・ケラー氏とフランスのロベール・ショールマン氏の二人が立候補して第2日目に投票が行われました。第3日目に投票結果の発表があり、チャール・ケラー氏に決定いたしました。それに続いて次期地区ガバナーの紹介があり、それまでノミニーでありました我々は、この時にエレクトとなり、祝福を受けた次第でした。

又、本会議はコンベンションセンターで五回行われ、ロータリーについての諸問題が討論されましたが、開会式と同様に人数が多いので、いつも二回同じ会議が開かれていました。



国際大会開会式風景

地区ニュース News of District

——高沢隆君を指名!——

“88～89ガバナーノミニー候補”

6月27日名古屋に於て指名委員会（委員長奥谷俊博君）が開催され、1988年～89年度ガバナーノミニーに豊橋クラブの高沢隆君が指名された。



高沢隆君略歴

T 14・3・23生、ヤマヒコ(株)社長
S 33. 豊橋クラブ入会、幹事、
会長、地区幹事、大会委員長
歴任、ボールハリスフェロー、
米山巧労者

花・を・訪・ね・て

四季の彩り

百合(ゆり)

ユリ科ユリ属の多年草の総称。山百合・鬼百合・姫百合・鉄砲百合・姥百合等、種類も豊富で、多くは初夏から盛夏にかけて、美しい花を咲かせる。古くは、萬葉集にも詠まれており、その優しく気高い姿と香りは、今も多くの人々から愛されている。鱗茎は、白または紫色で百合根と呼ばれ、食用にもなる。また、キリスト教では、聖母の祭壇に飾ったり、イースターにも使用するという。英名リリー。



「うつぶけに白百合さきぬ岩の鼻」 正岡子規

● “260地区史”編集スタート! ●

地区分割を目前にした260地区の栄光に輝くあゆみと歴史をとどめようと、地区史の編集が急がれている。今般地区史編集委員が決定され、いよいよスタートした。その顔ぶれは次の諸君である。

委員長 安野 謙次(一宮)	高橋 義雄(一宮)
副委員長 奥谷 博俊(尾張旭)	磯村 浩隆(豊橋)
// 奥澤 俊一(松本南)	早川 久右衛門(岡崎)
// 福田 浩三(名古屋空港)	鈴木 宗太郎(長野)
// 塚田 和男(長野東)	山岸 紫朗(松本)
吉田 市郎(名古屋)	後藤 新三(飯田)

国際ロータリー第260地区

ガバナー 塚田 和男

国際ロータリー会長 M.A.T. カパラスの7月2日付書翰に依り、先に発表いたしました会長賞プログラムが、下記の通り修正の旨連絡ありましたのでお知らせいたします。ご健闘をお祈りいたします。

1986～87年度会長賞プログラムの修正

各クラブがロータリーの拡大に、更にまた広範囲な活動分野において活躍して頂くための追加奨励策として、私は、会長賞プログラムの第2番目の目標を修正し、ローターアクト、及びインターアクト・クラブのスポンサーとなることを含めることにいたしました。それ故、各クラブがその中から選ぶことができる六つの目標は次の通りとなります。

1. あなたのクラブの会員を3パーセント純増すること(退会による減少を10パーセント考慮に入れると、13パーセントの全体的増加が必要です。会員増加率は、1986年6月30日から1987年6月30日までの増加に基づいて算出します。)
 2. 新ロータリー・クラブ／新ローターアクト・クラブ／新インターアクト・クラブのスポンサーとなること
 3. 年度中、職業奉仕か社会奉仕か国際奉仕において少なくとも一つの新奉仕プロジェクトを始めること
 4. 地区協議会にクラブ会長と幹事が参加すること
 5. 地区大会における出席会員数が昨年より10パーセント上回ること
 6. ロータリー財団への寄付が、昨年より10パーセント増えること
-